

春の陽ざしがいい気持ち!!

県民歩くスキーの集い



第八回県民歩くスキーの集い(大野台会場)が、三月八日に開かれました。快晴に恵まれて、歩くスキーには絶好のコンディション。三歳児から六十代の人まで七百人を超える参加者に、応援父兄らをあわせて千二百人を超える集いになりました。

午前中は、鷹巣中学校と合川南小学校児童の模範滑走に続いて、年代別に基本指導。今年は特に親子連れの参加者が増え、おほかない足どりの幼児といつしよにすべる父母のほほえましい姿が目立ちました。

午後の部は一キロ、三キロ、五キロのコースでスキーマラソン。思い思いのペースで、春の日ざしを楽しんでいました。(写真 七百人が一せいにスキーマラソンにスタート)

今月の紙面から

- 2、3面 3月町議会・町長の行政報告
- 3面 秋田精機(株)・前山建商(有)誘致発表
- 4面 道路交通法改正

広報

あいかわ

昭和62年(1987年)3月16日 第347号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186(78)2100 (4月6日から)

'87/ 3

347号

関の沢(三木田)に生活

環境施設を建設

六十二年年度予算など可決

町議会三月定例会は、三月九日から七日間にわたって開かれ、昭和六十二年年度予算など二十八案件が可決されました。会議の冒頭で行った畠山町長の行政報告を特集します。

3月定例町議会

行政報告



畠山 町長

今三月定例会の開会に当り、新年度予算案を中心に諸議案二十八件について審議を願うものであります。提出議案の説明に先立ち諸般の町行政の報告を申し上げます。

地方財政は昭和六十二年において、義務的経費の増加、社会保障関係経費、及び公共事業費等の補助率並びに充当率の引下げにより益々厳しい状況にあり、早急に財政構造の健全化を図ることが要請されております。

地域活性化と福祉の確保を

このため、新年度の町の子算編成に当っては、従来にもまして各種行政施策の優先順位の厳しい取捨選択を行い、時代の要請に即応しての行政役割を踏まえて、事業事務の見直しにより、行政の簡素効率化と、経費の節減合理化を推進することにより、限られた財源の重点的かつ効果的

分配に徹して、行政施策の着実な実施を図り、節度ある財政運営により社会経済の変化に対応して積極的に取組み、地域の活性化を促進して町民福祉の確保を図ってゆく所存であります。

一般会計予算の概要について申し上げます。

予算総額は二十四億四千八百八十八万一千円となりましたが、前年度当初予算対比で二千三百七十五万七千円の増額、伸び率で〇・九八%であります。これは一般財源の伸び率二・九%、増加見込額五千五百四十三万一千円と確実な見込額により、歳出規模を抑制した結果によるものであります。今後の自然増収を期待しております。

歳入の根幹となる町税収入は、標準税率の積算による見込額を三億九千二百二十三万一千円予定し、前年度対比で三・〇%の伸びを見込んでおります。また、地方交付税は普通分として十四億六千六百万円を期待し、三・五%の

(二面に続く)

町長日記から

今、昭和六十二年年度予算をはじめ年間、最も重要な三月定例会の会期の最中で、私をはじめ役場の管理職は多忙と緊張の連続である。収入と支出は個人家庭も、大小にかかわらず会社(法人)でも自治体(市町村)でもみな同じで、収入の過大見積りは禁物である。

ちょうど国税である所得税の申告の時期と重なって、町民の皆さんは、今年の税金はどうなるか気がかりだ。国の問題として、売上税に対する不満が大きく、この税制がどうなるかは、町の収入がどうなるかとも、多少のかかわりが出てくる。

町税のうち、固定資産税とか町民税は、大きな変化がないが、問題は目的税である国民健康保険税が大変である。医療機関も黒字基調を維持するために一生けん命だから、それが国保に大きく影響する。誰が悪いわけでもない。健康が最大の資本であることを痛感させられる。

(義)

わたしたちの町

人口(男).....4,483人
人口(女).....4,802人
計.....9,285人
1月中の転入.....15人
転出.....12人
世帯数.....2,291世帯

(2月末日住民登録人口調べ)

低い伸び率としております。国庫支出金と、県支出金は事業施策の措置に対応したもので、それぞれ措置基準に基いて積算し二億三千八百三十四万三千円を予定しておりますが、前年度対比では、二七・五%の減額となりました。町債は一億二千七百七十万円を予定し、前年度より三百六十六万円の増額となりました。そのほか使用料、手数料及び負担金負担金等については、保育料の料金を国の基準を参考にして見直し、高所得階層について増額しており八千二百二十九万三千円となり、前年対比で八・四%の増額となりました。そのほか地方譲与税、自動車取得税、諸収入等でありますが、自己財源では十九億三千九百八十一万七千円で歳入全体の七九・〇%を占めております。全般的に過大見積りにならないよう充分留意した積りであります。

次に歳出の性質別経費の内訳であります。人件費が六億四百八十八万六千円の所要額となり、歳出全体の二四・七%を占め前年度対比で六・八%増加しておりますが、これは人事院勧告による一般職員給与引上げと定期昇給分、また常勤、非常勤特別職の報酬改訂による平年度化に伴うものであります。物件費、維持補修費につい

町長の行政報告

(一面より つづく)

では適正な施設管理により削減に努め二億五千六百六万五千円を計上しております。扶助費、補助費等では、福祉関係及び教育関係の義務負担が主なものであります。六億一千九百三十六万三千円と厳しく措置され、構成比で二五・三%となっております。公債費は四億八千六百五十五万五千円、積立金四百四十一万七千円、投資・出資・貸付金で四千二百万円、他会計繰入金八千五百五十八万五千円等であり、普通建設事業では補助事業及び町単独事業で三億五千四百五十二万五千円を計上し、公共事業の確保により投資事業の促進を図っており、歳出全体の四四・五%を占めております。

鎌沢モデル排水完成へ

樋川井・大野台を改良

投資事業のうち補助事業では二億二千六百六十三万五千円、単独事業で一億二千七百八十九万五千円を計上しております。その主なる事業としては、公有林整備事業で、公有林四百一七・七ヘクタールの保育事業の下刈り、除伐、間伐等の費用五千四百六十六万五千円、第三期山村振興事業で集会施設及び農道整備事業費二千四百五十二万五千円、農村総合整備モデル事業では、今年度で完成する鎌沢地区の集落排水施設及び農林道、集落道の整備費三千五百四十六万四千円、金沢地区溜池整備事業八百九万一千円、新林業構造改

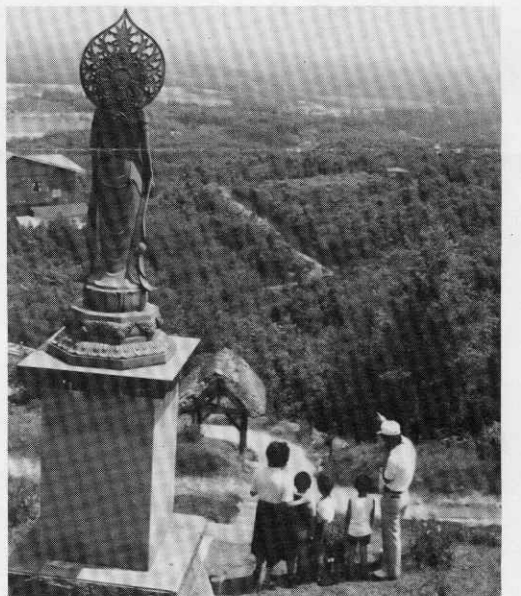
善事業では三木田関の沢地区に生活環境施設建設費二千四百七十六万六千円、山林間伐総合対策事業費百三十三万九千円、町道川井大野線改良工事費一千六百二十八万七千円、町道大野台駅線の舗装新設工事費二千五百七十七万七千円、新事業としては三木田地区農道整備事業一千三百二十六万五千円、町道中学校線の特設改良工事費三千三十三万六千円、防火水槽三基の建設費及びポンプ積載車一台の購入費一千三百七十八万八千円、そのほか、合川西部農免農道事業費負担金、阿仁川筋農免農道事業費負担金、老朽溜池復旧費、教育施設、体育施設の整備費等、債務負担による事業の義務経費等についてそれぞれ計上しております。

厳しい国保財政

本戸石・八幡宮簡水を拡張

事業の執行にあたっては、国庫の対応と財源措置等について綿密に精査し、事業効果と地域の生活環境が総合的に整備されて、経済基盤の充実が図られるよう配慮しております。

次特別会計について申し上げます。国民健康保険事業は毎年増高する医療費に歯止めがかからず、相次ぐ国の制度改正等により保険財政は予想を上廻る危機に直面しております。計画的に積立てた国保財政調整基金は六十一年度まで全額取り崩し、新年度では医療給



豊かな環境を利用して総合開発の進む大野台、国営農地開発の推進が待たれる。(大野台ハイランドから)

今後の事業運営は非常に厳しく困難な状態が続くことになり、新年度予算の保険税は一世帯当り十七万円まで引上げて対応することにして、予算総額を五億九千三百七十九万二千円と前年度対比では二四・六%増となりました。今後は医療費の無駄使い、多受診防止の指導点検と保健施設活動を一層充動して医療費増高傾向を抑制し国保財政の健全化に努め、国庫、並びに上部機関に対して積極的に働きかけてゆく所存であります。

合川町国保診療所会計は、逐次診療体制も整備され、医療設備や検査機能の充実と薬局管理の合理化等が図られ、全体的に赤字経営から脱却し町民の要請に応じております。

しかし、委託診療による歯科部門については医師の交替勤務等に問題があり、その解消に努力してきていますが、患者の利用動向を見極め、今後の対応について検討を加えて

三町国営農地開発促進協が発足

六十六年度着工めざす

以上当初予算案の概要について申し上げます。なお町政の当面する事項については、まず鷹巣・森吉・合川の三町にかかわる大野台農地開発事業は、本年度国営総合農地開発事業の調査地区として採択となる見通しであり、調査費二千五百万円が措置されております。土地の有効利用を図り、農業経営の規模拡大を目指すため、二月九日、町、議会、農業団体、集落推進委員等による合川町国営総合農地開発事業促進協議会を設立するとともに、二月二十五日には鷹巣・森吉・合川の三町による大野台地区国営総合農地開発事業促進協議会を設立し、事務局を本町の農業指導センターに置き、国及び三町より職員を派遣を受けて、事業の促進組織の整備と推進体制を強化して対応することになりました。

事業の概要は、六十二年度から三年間は調査期間、全体調査費は一億三千万円、六十

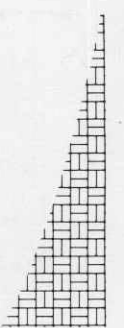
大野台に八社目の企業誘致

増沢地内にも一社

次に企業誘致についてですが、北秋田大野台工業団地への企業誘致はこれまで七社が進出し、六社が操業しております。

このたび、八番目の企業が決定となりました。進出する企業は「秋田精機株式会社」で現地法人として設立されますが、本社は埼玉県熊谷市にあります。製造部は自動車部品の超精密加工の専門メーカーで加工製品は重要保安部品に指定されており、主に日産グループの関連会社であります。用地取得面積は八千四百三十三平方メートル、建物面積は一千二百五十七平方メートルの計画で投下資本額約三億七千万円で、本年四月中旬に操業の予定で準備がすすめられております。従業員は操業時、男二十六人、女四人を予定されておりますが、第二期計画には、男九〇人、女十人の計百人規模の雇用力があります。

事業の概要は、六十二年度から三年間は調査期間、全体調査費は一億三千万円、六十





町おこしに、町民の知恵とエネルギーの結集が図られる。
(地域おこしフォーラムで)

第二期実施年度は十二億円から十五億円の売り上げを目指してまいります。
別口で合川町単独の誘致企業として、「産業廃棄物の中間処理工場」が増沢字増沢口に設立されました。本社は「前山建商有限会社」資本金八千万円ですが、この工場は熱分解システムが無酸素状態で加熱し、蒸溜、溶融、ガス工程により廃棄物の大半を占める有機物の無公害処理を行い、この処理工程において発生するガスを燃料に生成し、また自給燃料を抽出するのでランニングコストが低く、処理する有機物と金属の複合物を分離し、再資源化等を行うもので、現在大手O.A.メーカーより排出される下取り機を月産百トンも処理しておりプラスチック処理、電線や基板から希少金属の回収、また産業廃棄物の処理により資源の再利用などの営業と熱分解システムの利用についての新分野についても開発中であります。

(株)秋田内陸 物産を設立

特産品開発に全力

町おこし対策の推進であります。国の経済が急激な円高により景気の動向が厳しく、町の経済基盤である農林業の不振、商工業の雇用不安、そして高齢化社会の到来に伴い、地域経済は社会変化に対応した産業構造の転換を図らなければならぬ緊急な行政課題となり、その対策が迫られている中で、一月から町の行政機構に「町おこし対策室」を設置しました。県の「流通物

敷地面積は四千三百二十三平方米、建物面積三百七十八平方米、投下資本額七千五百万円、従業員は男十二人、女八人、計二十人で、営業目標額は四千万円から将来目標二億円の年商が予定されております。

産対策室」、県醸造試験場、生活クラブ、生協、全農、全農直販、伊勢丹デザイン研究所、秋田食生活科学研究所等の関係機関と連絡をとりながら特産品開発をすすめておりますが、農産物、林産加工品、畜産物、醸造加工品等の地場資源の活用を図り、商品化に対する意識の変化を求めて、地域特産の魅力ある産物を発掘し、商品価値を高めて汎用化を図るため、具体的には、行政と民間の資本拠出で、六百万円の資本金により「株式会社秋田内陸物産」を設立して、特産品の開発と販路の拡大を図る計画であります。
水田農業確立対策の推進の状況であります。本年度から長期的な観点から農業の将来を見通して、農業の生産構造を転換していくための対策がきわめて重要であります。本町の転作等目標面積二百八十八ヘクタールについては、昨年十二月二十八日に合川町水田農業確立対策協議会を開き、各部落に仮配分を行い部落内調整をすすめております。個人配分は三月中旬まで完了するよう作業をすすめておりますが、営農推進協議会を各部落で開催し、転作物物の導入や、集団化等により農家所得の確保について、協議をすすめております。

交通安全町民 運動を強力に

職員的能力向上を督促

次に交通安全運動については、関係機関は勿論であります。

すが、全町民の交通事故防止の意識の高揚喚起を住民運動として展開して参りました。本日をもって交通死亡事故ゼロ二千四百六十日の記録を達成し、全県第一位の輝かしい実績となりました。また、一昨年から県の飲酒運転追放モデル町村の指定を受け、昭和六十二年中における飲酒運転追放無事故競争全県第八位の優良町村として秋田県知事賞を受けました。今後とも官民一体となり、町民運動として強力に推進してまいる所存であります。

以上、新年度に向けて町政の一端を申述べましたが、高齢化社会がすすみ、地域産業の不振、国家財政の再建から地方財政への負担、転換等により、地方行政の課題はますます多面的に増加しております。こうした社会変化に対応し、昨年度策定した町の行政改革大綱に基づき、着実に具体化して実践し、町民福祉の向上に最善を尽して参ります。

これから二十一世紀に向けて情報化時代がすすみ、更にますます国際化されてくると言われております。町職員にも広い視野を培い、地方自治の奉仕者として誠実、かつ公平に職務の遂行に当り、職場の連帯感を深めて行政能力を高めるよう督促し、自覚を促して参ります。

議員各位におかれても、ますますのご活躍を期待して私の行政指針の報告といたします。



二社の誘致を発表 町独自誘致も

三月九日、町長が役場内で記者会見を行い、二社の誘致を発表しました。増沢地内の前山建商(有)処理工場はすでに操業しており、大野台工業団地内の秋田精機(株)も工場建設に着手。雇用拡大に、はずみがつくものと期待されております。



写真：先端産業の一翼を担う前山建商(有)処理工場

県議・知事選は 明るい選挙で

推進研修会開く

明るい選挙推進北秋ブロック共同研修会が三月二日、当町で開かれました。研修会では畠山町長が講演を行い、「隣接町村で力を合わせて『町おこし』を」と呼びかけ、木村士郎町選管管理委員長が「政治を学び合い、

参加意識を高め、明るい選挙を実現しよう」とあいさつしました。
各町村の明るい選挙運動の進め方などを発表し合いながら意見交換。当面する県知事、県議会選挙を明るい選挙で」と話し合いました。

「一年間ありがとう」 「ぜひ再会を」と

中国講座お別れ会

町公民館の中国講座閉講式が二月二十日、農村環境改善センターで開かれました。この講座は、「県立営農大学の研修生から学ぼう」と開かれているもので、四月には、新たに訪れる研修生にお願いして、改めて講座をスタートさせる予定です。
閉講式では、中国料理を囲んでこの一年間の思い出などを話し合い、「中国に帰ってがんばって下さい」との励ましに、「ぜひ、中国を訪ねてください」と距離を感じさせない会話がはずんでいました。

「すばらしい 美しさ」と好評

磨き丸太の即売会

この冬、生産された磨き丸太の展示即売会が三月十日、弥栄地内の生産施設で行われました。会場には、町生産組合の製品五十本を展示。訪れた人たちは、秋田スギの魅力を確認するように、熱心に品定めをしていました。
生産組合では「期待どおりの価格で完売できそう」と話しており、さらに今後の取り組みを計画しています。

火の用心・責任きめてしっかりと 春の火災予防運動 4月5日(日)~11日(土)



- ◎雪どけによって、えんとつのゆるみはありませんか。暖房器具の点検をもう一度。
- ◎子どもの火遊び・おとなの寝たばこなど、気が付いたら、誰でも注意してください。

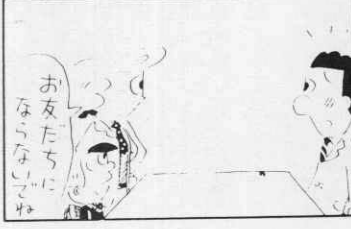
交通死亡事故ゼロ2,500日が 4月18日で達成します。



- 雪どけとともにスピードが出やすくなります。気をつけましょう。
- 新入園・入学児童など心はずむ季節。交通安全の習慣を、しっかりと身につけさせましょう。

18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21
土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 月 日 土 金 木 水 火 月 日 土 3

さわやか君



還暦祝

県知事・議会議員選挙
投票日

町内保育園入園式
合川高校入学式

県議会議員選挙告示
町内小中学校入学式
春の火災予防運動
11日まで

町制施行記念日
月

春分の日(マトビ)
西保南園卒園式
東保南園卒園式
地域づくり研究会
ことぶき大学卒業式
県知事選挙告示

情報

50歳ばん

○広報はとじて保存
○ごよみにあなたの
予定をメモして

国民年金 納め忘れは ありませんか

老齢基礎年金は、二十歳から六十歳になるまでの期間(昭和十六年四月一日以前に生まれた人は、昭和三十六年から六十歳になるまでの期間)いづれかの年金に加入して保険料を納めた場合に満額の年金(昭和六十一年度・六十二年二千八百円)が支給されますが、未納期間があると、減額されます。将来に、後悔を残さないように、自分自身の年金を確かめておきましょう。

申込み受け付けます

老人居室資金
心身障害者住宅資金

条件①六十歳以上の老人がいる世帯で老人居室を自力で整備(改築または増築)することが困難な人。②居室は一階で陽当りの良い部屋とすること。申請書類①所定の申請書 ②申請者(六十歳未満で世帯の生計中心者)と連帯保証人二名の所得証明書(または源泉徴収票)及び資産証明

水道料金が変わります

四月分(五月集金分)から基本料金 千四百五十円 超過料金 二百円

国民年金第4期

加入しましたか?

スポーツ保険の加入期間は四月一日から三月三十一日まで。年度内に体育行事などのために加入を予定している人は、三月中に加入しておく心安くはなりません。くわしくは町民体育館でどうぞ。保険料 一人千五百円。グループ 十名以上。

道路交通法

高くなる反則金

厳しくなる駐車違反

四月一日から道路交通法の一部が変わります。主な改正内容をお知らせします。

○交通反則金が全面的に改正され、およそ一・五倍に引き上げられます。

十五・未満速度違反六千円
九千円 一時停止違反五千円
七千円など、違反は「高くなる」こととなります。駐車禁止場所違反は五千円が一万二千円になり、特に厳しくなります。(以上金額は普通車)。酒酔い運転・過労運転・無資格運転などの罰金も約二倍になります。また、反則金の適用範囲も拡大されます。

○駐車違反の取締りが強化されます。

反則金が大幅に高くなるほか、移動命令が厳しくなります。駐車違反の車に違反者がいないと、移動命令ステッカーが貼られ、運転者は速かに車を移動し、そのことを警察官等に申告しなければなりません。申告がすむと警察官によって、ステッカーがはがされ、反則金等の手続きが行われます(ステッカーを勝手にはがしたりすると、二万円以下の罰金刑)。

移動命令に従わずに放置すると、強制的に移動され、その費用は違反者の負担になります。

○違反点数の一部が改正されます。

昨年十一月から、シートベルトの非着用(助手席同乗者を含む)の違反点が設けられています。今回は、駐車違反、速度違反の点数が一部改正されます。

川辺

広報歳時記 69

雪 解けが進んだ川辺では、春の気配が、一足 早く感じられます。ねこやなぎの花がふくらみや、草々の思いがけないほどの新芽の広がりを見つけて、心がはるむ季節です。

河 川の日本全体の長さをあわせると、約三十二万八千キロ。地球の八周分の長さがあるとのこと。小さな日本列島の、いたるところで、せせらぎが春の音を奏(かな)でていることでしょう。

自然環境に恵まれた私たちに暮らしていることがありません。四月は「河川美化月間」です。いつまでも、きれいに、そして安全に——水辺の環境を守るために、一人ひとりが気を配りたいものです。

合川診療所臨時休診日
三月二十八日(土)

善意のご寄付

(敬略)

▶香典返しにかえて▶

石上 テツ	杉山田 (故姉 タダ子)
三浦 豊男	三木田 (故父 助 松)
木村 運吉	下 杉 (故母 ツ ナ)
豊村 清 美	栄 (故父 仁 市)
沢藤 光子	木戸石 (故夫 隆 夫)
佐藤 重人	川 井 (故祖父重五郎)
安部 奎一	増 沢 (故母 ノ フ)
佐藤 正男	駅 前 (故母 ナ ヲ)
福岡 陽一	三 里 (故父 悦 郎)

▶物品の寄付▶

道城寿クラブ 雑巾の寄付

慶弔だより 2月届出

▶お誕生おめでとうございます▶

佐藤 麻子	松石殿 雄幸	長女
澤藤 直輝	木戸石 孝久	長男
澤藤 匠	美 栄 家次	二男
佐藤 菜佑子	木戸石 昌郁	長女
安部 博	増 沢 和博	長女

▶謹んでおくやみ申し上げます▶

石 上 タダコ	杉山田 本 人
佐藤 重五郎	川 井 重 人
石野 龍二	金 沢 本 人
安部 ノフ	増 沢 奎 一 母
澤藤 隆夫	木戸石 本 人
佐藤 ナヲ	駅 前 孫 治 妻
伊藤 繁野	美 栄 本 人

役場の電話番号が変わります

4月1日から役場庁舎の電話の仕組みが新しくなり、電話番号が変わります。

- ①各課別の番号になり、交換室が無くなります。
- ②申し込み課が話し中の時など、別の課につながる場合がありますので、用事のある課または名前をお話してください。
- ③要件によって、どの課が担当するかわからない場合には、その事をお気軽にお話してください。

役場関係の電話番号 (合川局 0186-)

福祉課	78-2113	町おこし対策室	78-2116
保健課	78-2113	(ファクシミリ)	78-3277)
財政課	78-2112	総務課地籍調査班	
出納課	78-2112		78-2116
農林課	78-2115	議会事務局	78-2100
農業委員会	78-2115	総務課	78-2100
建設課	78-2115	教育委員会	78-2117